

View アレルギーは重要な36項目の特異的IgEを 少量の採血^{*1}で同時に測定できる、新しいアレルギー検査です

アレルギー性疾患の主な原因アレルゲンを含む
吸入系その他18項目と食餌系18項目で構成されています。

吸入系 その他アレルゲン

室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚
昆虫	ガ、ゴキブリ
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、アスペルギルス(コウジカビ)
真菌その他	カンジダ、マラセチア(属)、ラテックス



- 近年、室内アレルゲンとして認知度が
高まりつつあるガ・ゴキブリ
- 花粉症の原因となる樹木・草本類
春のスギ・ヒノキ、初夏から秋にかけて飛散する
イネ科の代表カモガヤ
晩夏から秋にかけて飛散するキク科の
ブタクサ・ヨモギ
- 一般的に知られるようになってきたOAS
(口腔アレルギー症候群)を合併することもある
ハンノキ(属)・シラカンバ(属)
- アトピー性皮膚炎の悪化因子の1つとされる
マラセチア(属)

食餌系アレルゲン

卵	卵白、オボムコイド
牛乳	ミルク
小麦	小麦
豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
甲殻類	エビ、カニ
果物	キウイ、リンゴ
魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉



- 加熱卵摂取可能性の指標となるオボムコイド
- 特定原材料に準ずるもの(表示推奨)として
新たに追加されるゴマ^{*2}
- OAS(口腔アレルギー症候群)の代表的な
症状誘発食品であるキウイ・リンゴ
- 仮性アレルゲンによる症状と判別しにくいサバ
- 特定原材料(表示義務)7品目
卵白、ミルク、小麦、ピーナッツ、ソバ、エビ、カニ

依頼頻度・陽性率の高いアレルゲンから厳選した36のアレルゲン

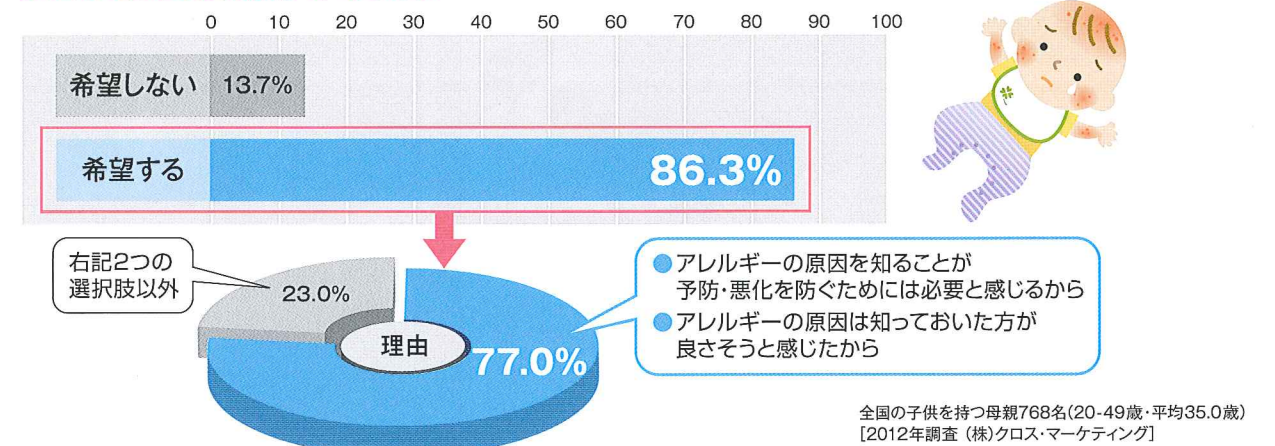
*1 必要血分量については、お取引検査センター様の検査要項をご確認下さい。
*2 2014年9月より

View アレルギーは患者様のニーズに応える アレルギー検査です

アレルギー性疾患と診断された患者様のうち、77%の方がアレルギーの原因を知りたいと考え、
先生方とのコミュニケーションをしながらの診療を求めています。
患者様に説明しやすい重要なアレルゲンと先生方・患者様の役に立つサポート資材がそろっています。

保護者の77%が「アレルギーの原因を知っておきたい」と回答

Q.お子さんがアレルギー疑いと診断されたら、検査を希望しますか?
またその理由をお聞かせください



患者様の77%が「医師と相談しながら決めたい」と回答 「先生方とのコミュニケーション・診療への参画」を求める 患者様は89%にのびります。

Q.アレルギー性結膜炎で実施する検査について、あなたの考えに近いものをお答えください



ママ・パパの声：

93.1%が「アレルギーの原因が特定でき、診療に満足」と回答

アレルギーと診断された時の、原因特定の有無^{*}と診療満足度を聞いたところ、
「原因が特定でき、満足」と回答した方が93.1%にのびりました。
一方、「診療に不満」と回答した方の主な理由は測定したアレルゲンの数や
種類の選択にありました。

※血液検査のみで原因アレルゲンの特定はできません。

- 声
- 多くの項目を選択できず原因が特定できたのは一部だけだったので、
あまり満足しなかった。(40代女性)
 - どの項目を測定したいか先生から聞かれたがその時はわからずお任せした。
検査後、これもやれば良かったと不満に感じた。(30代女性)



0~18歳のお子様を持つママ・パパ(47名)対象
アレルギー検査に関するアンケートより
[2013年調査 ファディア(株)]

View アレルギーは患者様への充実した 情報提供を通して、アドヒアランスの向上を目指します

先生方・患者様の声から生まれた情報資材

患者様向けの指導箋は、先生方・患者様の声を取り入れた必要な情報で構成されています。
患者様啓発用の資材として、待合室掲示用ポスター・小冊子・小冊子立て を用意しております。

Viewアレルギーご採用のお客様にすべてをワンセットにした「スタートキット」をお届けします。

患者様向けの指導箋 (A4)

待合室掲示用ポスター (A3)

患者様啓発用小冊子 (B6)

小冊子立て

※情報資材はイメージです。実際の資材とは異なる場合があります。

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
0161	View アレルギー (View36)	血清	0.9mL	A1→A2	冷蔵	2～5	FEIA 法	0.27 未満 INDEX	D015-11	1,430	特異的 IgE 半定量・定量

*特異的IgE半定量・定量検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430点を限度として算定する。
※九州、沖縄地区の所要日数は3～6日です。

判定 クラス0を陰性、クラス1を疑陽性、クラス2以上を陽性と判定します。

陰 性	疑陽性	陽 性				
0	1	2	3	4	5	6

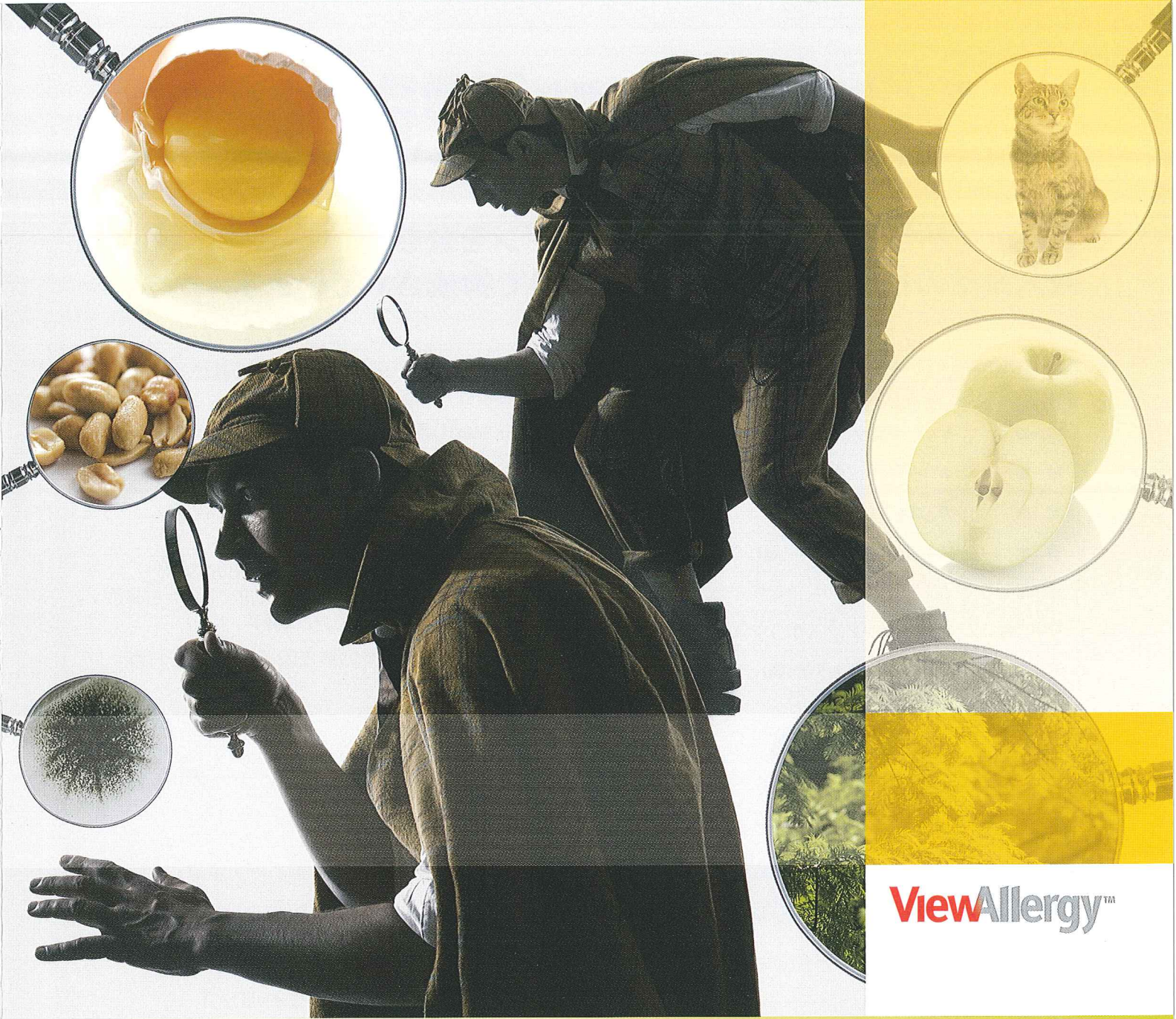


thermoscientific.com/phadia
©2014 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved. All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific Inc. and its subsidiaries.
Manufacturer: Phadia AB, Uppsala Sweden.

お問い合わせ先
サーモフィッシャーサイエンティフィックグループ
ファディア株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野 4-24-11 NBF上野ビル 9F
Tel:0120-489-211/e-mail:info-jp.idd@thermofisher.com

1407-SE-530-2

Thermo
SCIENTIFIC
A Thermo Fisher Scientific Brand



Product Catalog View アレルギー

36の主要なアレルギーに対する特異的IgE測定が
一度の少量の採血でできる新しいアレルギー検査です。

Thermo
SCIENTIFIC